

新清掃センター建設問題について 2

忘れられた処理方式議論 ～ ガス化溶融炉で本当にいいのか ～

新清掃センターの問題は、気の遠くなるような長い年月をかけ、すったもんだの果てに11月27日に行われた入札で2社のどちらかに決まるかに思われていましたが、2社とも予定価格を大幅に超過し、どちらも落札することができませんでした。

本来入札予定だった8業者が、先の談合事件の指名停止などで指名できなくなり、残ったのが2社です。そして川越市では、「時間もないので、談合に加わらなかったこの2社で決めよう」という雰囲気でした。しかし、新清掃センター建設にあたって、市民が一番に望んでいるのは「安全で住民に優しい施設」なのではないでしょうか。

ガス化溶融方式は、近年もっとも多くの事故を起こしている方式です。見切り発車との声も多いこの方式は、簡単にいえば、①ダイオキシンを発生させない ②最終処分ごみの量が減らせる ③なんでも燃やせる 画期的な技術？として登場した方式です。しかし、①②③のすべてに、さまざまな意味で？マークが付いてしまいます。①については、環境省のガイドラインでも「ダイオキシンの発生が抑制される」とは書いてあっても、「発生させない」とは書かれていません。②についても、その処理過程で多くの化石燃料などが必要であり、ごみの減量に取り組めば取り組むほど、さらに多くの化石燃料が必要になる可能性があるため環境負荷が大きいのです。③についても行政・市民共に、ごみの分別資源化や減量化に力が入らなくなったり、産業廃棄物の処理も併せて行うようになるなどの悪影響が十分考えられます（実際、このような方向に向かった自治体があります）。さらに、ランニングコストも高く、財政にかかる負担も大きくなります。いずれにしても、目指すべき省資源化・資源循環型社会とは逆の方向に進んでいるといえるでしょう。

今回入札に参加した2社は、いずれもガス化溶融炉方式での建設を計画している業者です。談合事件の余波でしょうか、いつの間にか処理方式の議論は飛んでしまいました。これでは「環境市長」の名が泣きます。27日の事態を受け、対応策について再検討をするそうです。ならば、私はもう一度強く訴えます。川越市のとるべき選択肢は従来炉（灰溶融なしのストーカー炉）の導入であり、徹底した分別によるごみの資源化や減量化にこそ力を入れるべきであると。

♡♡♡♡♡ 掲示板 ♡♡♡♡♡

☆ 川越市議会を傍聴に行こう！ ☆

11月30日から始まった12月議会、議員を知るには議会傍聴が一番です！ 皆さんが投票した議員の仕事ぶりをしっかり見に行きましょう。「百聞は一見にしかず」、時間をつくって是非傍聴して下さい。

日程：一般質問 12月7日・8日・11日・12日（13日まで延びる可能性あり）

場所・時間：市役所7階の傍聴席 10:00～17:00（途中何度も休憩あり）

★ 予約などは必要ありません。市役所7階に行き、受付で住所と名前を書き、出入り自由です。

☆ 歳末クリーン川越まち美化拡大行動 ☆

日時：12月23日（土・祝）9:30～11:30（小雨決行）

場所：本川越駅前交番横集合

服装：持ち物：歩きやすい靴、帽子、軍手、タオル、雨具等は各自で準備してください。

ごみ袋、トンゴ、ゼッケン、腕章等は主催者で準備します。

申込：かわごえ環境ネット事務局まで電話・メールで連絡、12/20（水）締切

★ ごみを拾う側にまわったら、捨てる気にはならないものです。お子様連れで参加されてみては？



- ★ グリーنز川越は、政治を身近にしていけるための活動の一つとして、2003年より、環境、教育、議会・行政改革のテーマを中心に、提案型地域情報誌として、私の考えと共に皆様にお届けしているニュースです。南古谷駅前・川越駅東口、西口・本川越駅前での配布や少人数でのポスティング中心でお届けしています。みなさんのお手元にタイムリーにお届けできない場合がありますが、ご了承下さい。
- ★ ご意見・ご感想など、みなさんの声をお聞かせ下さい。お待ちしております。
- ★ ポスティングのお手伝いいただける方は、ご連絡をいただければ幸いです。
- ★ グリーنز川越は、100%再生紙・100%手作りで作成しています。